

平成24年度草の根・人間の安全保障無償資金協力 バンテアイミアンチェイ州トモポック郡ろ過器設置計画 完成式典開催

2月25日（火）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「バンテアイミアンチェイ州トモポック郡ろ過器設置計画」（供与額限度額：100,745米ドル）により建設された大型ろ過器の完成式が、バンテアイミアンチェイ州トモポック郡で開催されました。右式典には、日本国大使館から樋口公使が、カンボジア政府から保健省のチュー・ヤン・シン長官、ユーソム・サールット バンテアイミアンチェイ州知事が出席して祝辞を述べるとともに、地域住民約500人が参列しました。

本プロジェクトは、バンテアイミアンチェイ州トモポック郡に、ため池を水源とした毎日約7,000リットルの水をろ過する能力のある大型ろ過器を設置し、地域住民へ安全な水を供給し、地域住民の健康増進に資することを目的として、2013年3月に贈与契約が結ばれ、本年1月に工事が完了、この度の完成式典の運びとなりました。

式典で樋口公使は、「本事業実施前は、安全ではない水の飲用及び使用により病気に罹患する人々も多くいたと認識しています。この度設置された新しいろ過器により、多くの住民が安全な水にアクセスできるようになることで、感染症を減らし、地元住民のより良い生活環境作りに寄与することを願っています。」と述べました。チュー・ヤン・シン保健省長官は、「カンボジアの保健分野において支援を継続している日本国民及び政府への感謝の意を表明します。」と述べました。

続いて樋口公使とチュー・ヤン・シン保健省長官らが、テープカットを行った後、ろ過器の視察し、ろ過された水を出席者が試飲し、式典は終了しました。



① 樋口公使のスピーチ



② チュー・ヤン・シン保健省長官



③式典の様子



④テープカットを行う樋口公使



⑤完成した建物の外観



⑥完成したろ過器



⑦ろ過された水を飲む式典出席者